

テレワークネクスト 人材トランスフォーラム分科会の報告

2024年1月11日

キャリア・コンサルタント協同組合

人材トランスフォーラム分科会 参加メンバー

◆企業規模・企業形態の異なる11社が参画

- ・HY技研(株)
- ・キャノンマーケティングジャパン(株)
- ・キャリア・コンサルタント協同組合
- ・(株)キャリア・マム
- ・大和印刷(株)
- ・(株)田代コンサルティング
- ・(公財)NIRA総合研究開発機構
- ・パーソルテンプスタッフ(株)
- ・(株)リシモア
- ・(株)AnyWhere
- ・(株)YOUTRUST

参加企業間で共有された人材課題

課題を集約すると人材の育成と人材の確保となる

【人材の育成】

- ◆ 自律的に業務を遂行できる人材育成
- ◆ 社員のエンゲージメントの向上
- ◆ 社員のパフォーマンスの評価方法

【人材の確保】

- ◆ 中小企業で求められるIT人材とは
- ◆ 中小企業の人材育成と定着
- ◆ 企業の成長に必要な人材の確保

キャリア・コンサルタント協同組合のご紹介

1993年に中小企業の経営支援を目的として設立された「事業協同組合」

【VISION】

◆日本の価値観に根ざした「WELL BEING」の実現

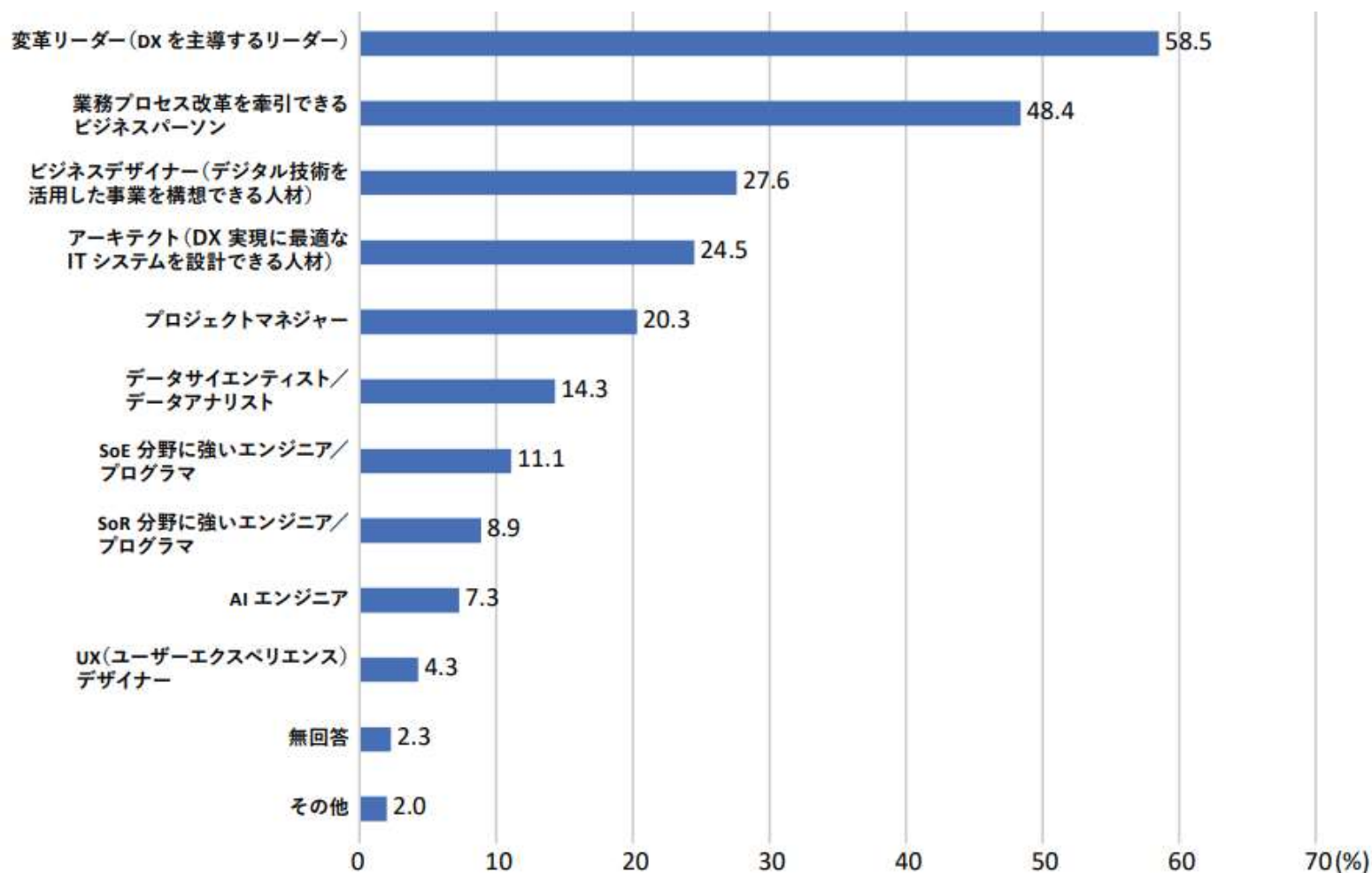
・働き方改革の推進

【今回のテーマ】

◆ 中小企業で求められるIT人材とは

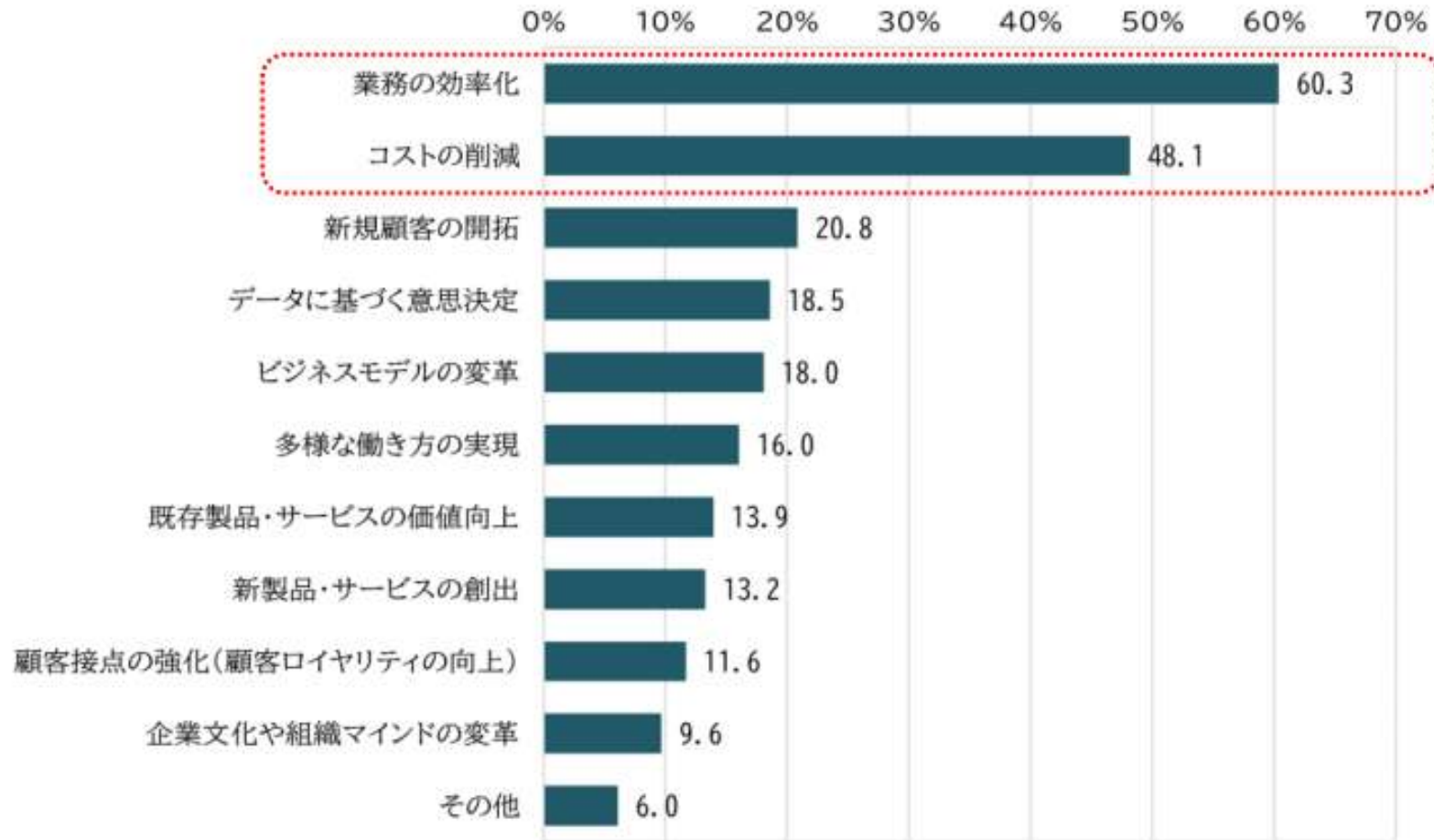
企業が求めるIT人材(採用・育成すべき人物像)

ITエンジニアよりも業務プロセスを理解し、変革できる人材が求められている(DX人材)



中小企業がDXに期待する成果・効果

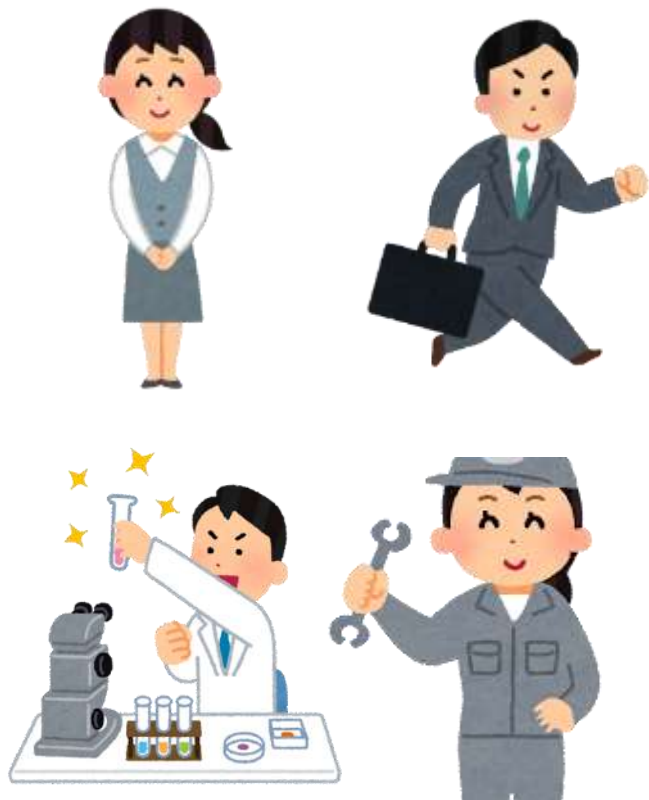
DXによる業務効率化、コスト削減効果への期待が他を圧倒している



中小企業のDX人材イメージ

求められるDX人材は現業とデジタル技術を仲介する人材

現業



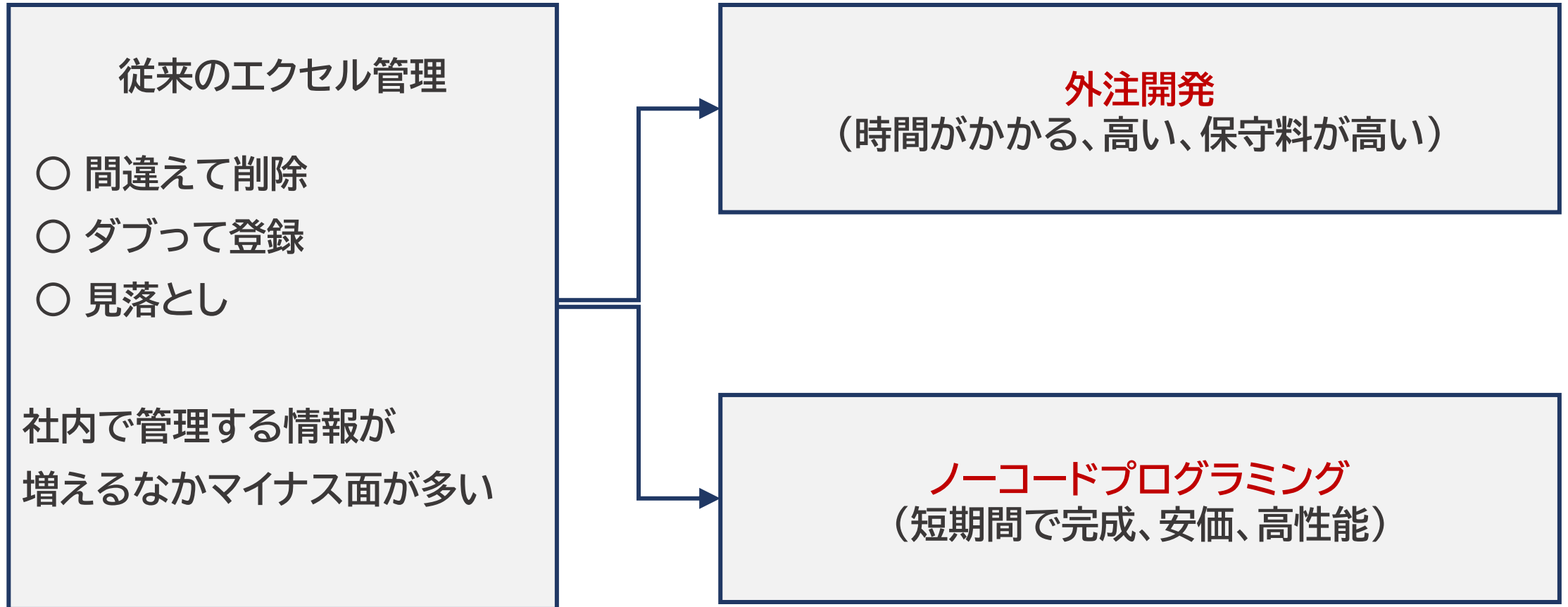
DX人材



IT人材（デジタル技術）



社内の業務管理イメージ



事例1 ノーコードで業務効率化を実現したケース

業種:建設業

課題

- ・1つの工事でも多数の下請業者を使うため、見積書や請求書が入り乱れる
- ・現状は各自がエクセルで管理している
- ・請求漏れや請求ダブリが発生
- ・月10日程度は5名がこれらの作業に追われる

提案

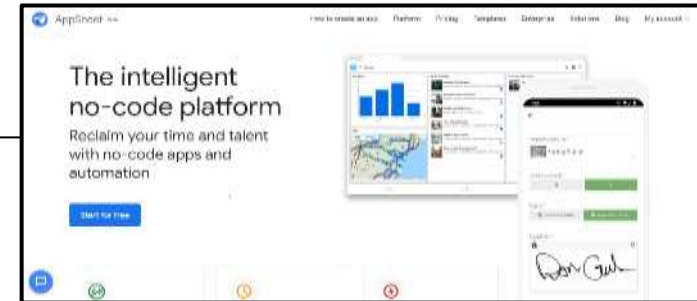
- ・ノーコード「Google App Sheet」で業務管理アプリの制作を提案
- ・工事毎に下請業者を管理し見積書や請求書の発行状況(いつ、いくらで)を管理する

効果

- ・これらの作業が1人、月2日で終わるように
- ・請求漏れや請求ダブリがなくなった
- ・システム内で全てを管理するため、紙書類の整理も容易になった

ノーコードツール

Google App Sheet



特徴

Googleサービスの1つで、ノーコードアプリを開発できるプラットフォーム。簡単な設定を画面上で行うことでUI/UXデザインに富んだ業務用アプリを開発できる。非エンジニアでもアプリを開発することができることから、IT人材不足が続くなか注目度が高まっている。

メリット

- ①残業時間削減
- ②データの一元化、可視化
- ③システム内製化
- ④圧倒的な開発スピード
- ⑤現場のニーズに即した開発

事例2 ノーコードで情報共有を活性化させたケース

業種:食品製造業

課題

- ・営業チームの目標や進捗確認を共有させたい
- ・売上実績を可視化したい
- ・営業成績と給与・賞与を連動させたい

提案

- ・グーグルフォームを活用した日報を提案
- ・日報には顧客との商談内容や見込みを記入
- ・ノーコード「Looker Studio」で個人別、顧客別、商品別の売上実績を可視化
- ・営業会議を週1回開催し部内で情報を共有

効果

- ・売上実績を可視化することで言い訳出来ない状況が生まれ、コミットする意識が高まった
- ・営業チーム内でのコミュニケーションが活性化した

ノーコードツール Looker Studio

特徴

Googleが提供するBIツール。様々なデータソースへの接続、豊富なビジュアル機能、容易なレポートの共有などパワフルな機能を完全無料で利用可能。

メリット

- ①完全無料で魅力的なダッシュボード
- ②様々なデータソースと簡単接続
- ③データ共有から管理までワンストップ
- ④編集・管理・共有がしやすい
- ⑤レポート作成の自動化で工数削減可能
- ⑥機能性とデザイン性を備えたテンプレート



DX人材を育成する社内のメリット

DX人材育成によるメリットは多岐にわたる

- ・日常業務に対する理解やITへの理解が進む
- ・業務改善の思考が身に付く
- ・自ら指揮をとって業務効率化を進めることができる
- ・外注する場合、システム会社との交渉ができるようになる
- ・自らシステム開発ができる